

報告第6号

第3回山陽小野田市社会教育委員会議の結果について

標記の会議を開催したので、山陽小野田市社会教育委員会議規則第5条の規定に基づき、別紙のとおり報告します。

令和8年4月30日提出

山陽小野田市社会教育委員会議

委員長 江 中 幸 夫

■会議録

会 議	令和7年度 第3回 社会教育委員会議
開催日時	令和8年2月19日(木) 14時00分から15時50分まで
開催場所	市民館 第1, 2会議室
出席者	山陽小野田市社会教育委員（14名中12名出席） 大田誠委員、間恵満貴委員、恵谷誠司委員、香川真澄委員、矢野憲文委員、 富永恵美子委員、河崎平男委員、梶田智也委員、竹内道子委員、 瀬口康道委員、三上愛子委員、江中幸夫委員  事務局4名 長友教育長、山本社会教育課長、三浦課長補佐、正木係長
会議次第 及び結果	1 教育長あいさつ  2 委員長あいさつ  3 議題 「本市の社会教育活動に関する現状や課題、今後の取組」について グループ協議、情報共有 →協議では、本市の社会教育活動の現状や課題について、委員のアンケート結果及び教育振興基本計画（素案）をもとに意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。 ・学校を核とした社会教育活動や地域との連携強化が必要。 ・人権課題や文化財の扱いなどについて、具体的な記述や啓発活動・資料保管の充実、専門職員の配置を求める意見があった。 ・家庭教育やしつけ、生活習慣の教育不足、親子の地域行事への参加減少、親の価値観の多様化が課題として挙げられた。 ・青少年や家庭教育への対応、ならびに市独自の条例の検討など社会の変化に合わせたアプローチの見直しが必要。 ・放課後や地域行事の参加環境づくり、読書量や学びの場、体験活動の充実と環境整備が求められる。 ・高齢化や講座参加者層の固定化、多世代が集まりやすい講座や地域資源の活用、活動へのアクセスしやすい工夫も課題。 ・地域の大人や指導者の育成・活動参加促進、学校と地域の協力強化が今後の取組として重要だという意見が多く出された。  4 その他 (1) 地域交流センターの主催講座について（報告） (2) 放課後子ども教室について（報告）  5 社会教育課長あいさつ